

とき・講師

ご依頼テーマ・概要

1

2019年

12/16
(月)



大崎 真孝氏

NVIDIA

日本代表 兼 米国本社副社長

『AI時代を切り開く、NVIDIAの挑戦』

NVIDIAは今、自らAI時代を切り拓きつつある最先端企業。今やIoTとAI時代に不可欠の存在。設立はインターネット黎明期の1993年。GPU(Graphics Processing Unit)の開発・生産が発売。躍進のきっかけは約5年前に火がついた「ディープラーニング」。このAIの爆発的進化を推進しているのが同社。Google、IBMなどの研究開発で使用されている「Tesla」を開発、提供しているのがNVIDIA。今、自ら1,000兆円規模市場が見込まれる自動運転技術の開発に挑み、トヨタ自動車は最近NVIDIAとの本格的な自動運転に関わる技術関係を深め、NVIDIAの技術開発動向が注目されている。



世界最先端データセンター GPU TESLA 100

2

2020年

1/15
(水)



津田 雄一氏

※ JAXA訪問見学

JAXA宇宙科学研究所 准教授
はやぶさ2プロジェクトマネージャー

『“はやぶさ2”のミッション、太陽系の誕生と生命起源の秘密に迫る』

2014年12月、「太陽系の誕生と生命起源の秘密に迫る」ことをミッションに打ち上げられた「はやぶさ2」は、2018年6月小惑星「リュウグウ」に到着。2019年7月、世界初複数地点着陸、地下物質採取成功。2020年末帰還予定。克服すべき課題は山程あった。氏は“初代はやぶさ”にも携り、39歳で「はやぶさ2」総責任者。「100点満点で1000点。事前準備を含め完璧だった」と言う。今年アポロ月面着陸50周年、地球外知的生命体人類の文明を伝えるという壮大な目的を持ったボイジャーが打ち上げられたのは1977年。人類の夢と挑戦、それに応える科学技術の進歩に触れる。



小惑星リュウグウに到着したはやぶさ2

3

2/12
(水)



本間 希樹氏

国立天文台

水沢VLBI観測 教授/所長

地球サイズ 超巨大仮想電波望遠鏡の創出が成功させた
『人類史上初のブラックホールの撮影』

2019年4月10日、人類史上初のブラックホール撮影成功の報が世界を奔った。本間希樹氏を中心とする日本の研究者、川崎市の中小企業など、世界の研究者・技術者が一丸となって到達した偉大な科学的業績。撮影されたのは乙女座銀河団M87 巨大ブラックホール。地球から5500万光年、その質量は太陽の65億倍。世界8つの電波望遠鏡をアップグレードして結合。圧倒的感度と解像度を持つ、地球サイズの仮想望遠鏡を作り上げた。一般相対性理論の発表100年を経た節目に、このアインシュタインの理論が予言する天体の存在が実証された。



国立天文台提供

人類史上初撮影に成功したブラックホール

4

3/12
(木)

8/31
(月)



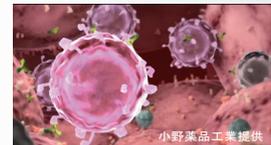
粟田 浩氏

小野薬品工業(株)

取締役 副社長執行役員

『小野薬品の企業理念と研究開発戦略、
癌免疫薬オプジーボ開発の挑戦の軌跡』

創業302年の製薬企業。売上2,900億円で純利益620億円、2018年度対売上・研究開発費24.3%。世界的高収益・新薬高開発型企業。これまで画期的イノベーションを2つ持ち、一つは夢の新薬といわれたプロスタグランディン、もう一つはノーベル賞受賞者 京大名誉教授本庶佑氏、米BMSとの共同開発、米サイエンス誌 2013年度「Breakthrough of the year」のトップを飾った、同社今日の成長ドライバー 抗悪性腫瘍剤オプジーボ。PD-1の免疫抑制の仕組みの解明、創薬開発研究、治験...その間15年を要した。



小野薬品工業提供

癌細胞と免疫細胞模式図

5

4/10
(金)

9/18
(金)



菅原 潤一氏

Spiber(株)

共同創業者、取締役 兼 執行役員

鋼鉄の340倍 異次元の強靭さと優れた環境特性を持つ蛋白質繊維
『世界初“合成クモの糸繊維”の開発』

山形県鶴岡市が拠点。世界初合成クモの糸繊維の量産技術の開発に成功し、世界が瞳目したベンチャー企業。氏は慶應義塾大学在学中、同大先端生命科学研究所でクモの糸の研究に専念していた関山和秀氏(現Spiber社 社長)と今日の Spiber を立ち上げた共同創業者。2016年8月、本会で関山社長から創業の夢と苦闘の道程を伺ったが、タイ工場の立ち上げ、GOLDWINとの事業化も本格化した今、改めてその軌跡と夢を伺う。「クモの糸」は鋼鉄の340倍の異次元の強靭さ、環境性能など驚異的潜在力を持つ蛋白質繊維。NASAが断念した挑戦。



Spiber提供

クモの糸 紡糸

6

5/22
(金)

10/16
(金)



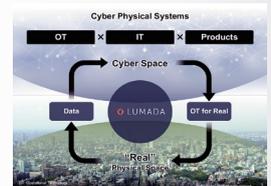
大槻 隆一氏

(株)日立製作所 執行役員常務

前日立グローバルデジタルホールディングス社 取締役会長
前日立アメリカ社 取締役会長

『本格的グローバル展開に踏み切った、
日立のデジタル革新プラットフォーム事業』

2020年1月、日立製作所は独自のIoT、デジタルイノベーションプラットフォーム Lumada 事業の本格的なグローバル展開に踏み切ったため、米国子会社二社を統合。グローバルなフロント機能の中核として、新会社「Hitachi Vantara」を創設する。日本の“ものづくり”の強みは匠の技、基幹ソフトに弱いと言われて来た。ターゲットはモビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、ITの5分野。社員数約1万2千人。2019年のLumada事業の売上は1兆1700億円。しかもその9割は国内実績だった。大槻氏は、これまで日立 Lumada事業の世界展開に中心的役割を果たして来られた方。



日立が「Lumada」で世界攻略へ

チ
エ
ア
マ
ン



入交 昭一郎 氏
(有)入交昭一郎 代表
元本田技研工業(株) 代表取締役 副社長
株式会社 セガ・エンタープライゼス 代表取締役 社長・会長

◆毎回の基本スケジュール

13:30~14:30 講演(前半)
14:30~15:00 コーヒーブレイク
15:00~16:00 講演(後半)
16:00~17:00 Q & A

◆会場

東京理科大学 森戸記念館
東京新宿区神楽坂4-2-2

以降延期開催